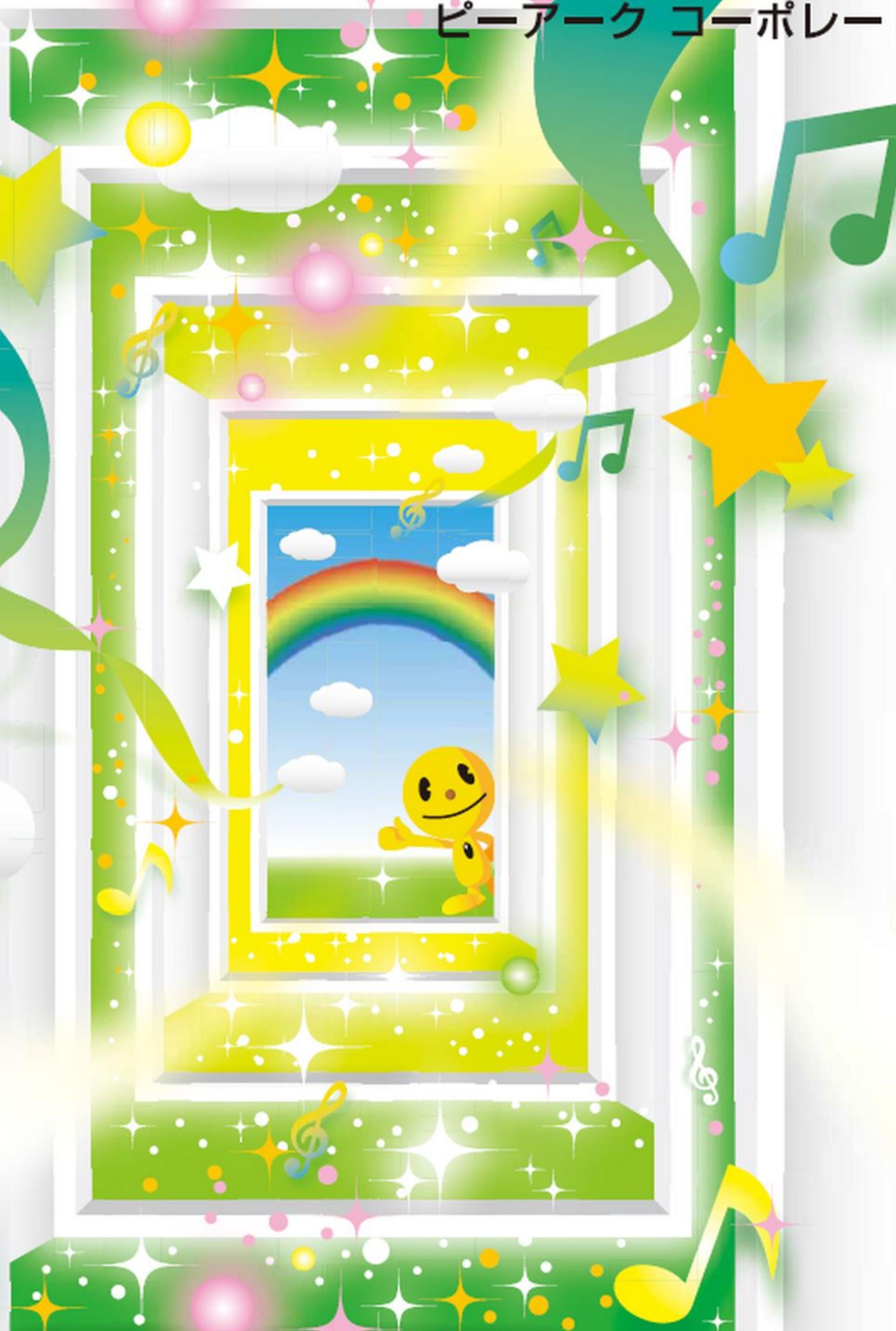


# Fun for Life

vol. 12

ピアース コーポレートブック



特集:  
新たなFunへ  
次の一手

P対談:  
チャレンジは  
社会を動かすエネルギー

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
理事長  
**有森裕子 氏**

特集

# 新たなFunへ 次の一手



## Contents

- P2 新たなFunへ 次の一手
- P4 Challenge 1  
ピアーカー ピーくんガーデン
- P8 Challenge 2  
構造改革チャレンジプロジェクト
- P10 Challenge 3  
Fun for ピーくん

## Top Message

わが国も新体制で2015年を迎えることになりました。アベノミクス3本の矢「大胆な金融政策」「機動的な財政政策」「民間投資を喚起する成長戦略」ブレのない政策も実態効果が表れるには、まだタイムラグがあり、政治も経済も今が踏ん張りどころです。そして、この成長戦略は女性が輝く社会の実現等、多様な価値観を推進力にする社会改革でもあります。したがって、じっくりと腰を据えた前進に是非とも期待したいところです。

さて、バチンコ業界もハイスピードで進むITレジャーの台頭や多様なレジャー産業への構造改革に押され気味で、参加人口が減少傾向にあります。したがつて大衆娯楽としてあるべく未来像を強くイメージしながら、次なる成長戦略への道筋を早く見付けなければならぬ地点におります。

このような環境の中、当社は8月にピアーカー成長の地、足立区谷中に「ピアーカー ピーくんガーデン」を開業



いたしました。昭和57年の開業から32年間にも渡り、私たちの提案する新業態パチンコを長くご支持いただいた「お客様」、そして成長を温かく見守つていただいた「地域の皆様」と次の30年間を紡いでいく「新しい営業モデル」にチャレンジをしています。

たとえば、今号の特集記事にもありますように、新店舗に併設した「コミュニティガーデン」は、地域にお住いの方の自己実現や地域交流をアシストする場所であると同時に、お客様や地域とのリレーションのその先で、地域社会とピアーカークとがつながる「Fun for Life」な場所でもあります。

さて来年はいよいよ長期経営計画「ブランドビジョン2020」の折り返しの地点ともなります。必然的にたどり着いたこのモデルに更に磨きをかけた強い営業モデルの実現で、一層のブランド価値創造に挑みますので、ご期待ください。

ピアーカークホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長 庄司 正英

# ピーアーク ピーくんガーデン

This is an open space which everybody enjoys. Produced by P ARK.



プレイ  
ガーデン



## プレイガーデン

ピーアークの新たな成長モデルとして、8月8日にグランドオープンした「ピーアーク・ピーくんガーデン」。新しいパチンコモデルを追求し、これから30年に向かた「パチンコを、その先へ。」の想いを凝縮した挑戦が始まっています。

パチンコ遊技の楽しさを追求する「プレイガーデン」と、街の楽しい機能としての「ミニユーニティガーデン」を備えた施設で、街のお役立ちにトライ中です。

ピーアークの新たな成長モデルとして、8月8日にグランドオープンした「ピーアーク・ピーくんガーデン」。新しいパチンコモデルを追求し、これから30年に向かた「パチンコを、その先へ。」の想いを凝縮した挑戦が始まっています。



## 景品コーナーの進化系「ピーくんマーケット」

「楽しく景品交換を!」そんな想いを込めてご用意しました。  
たくさんの景品の中からじっくり選べる新コーナーも。

- ・景品がバイキング型式だと楽しくていいね
- ・景品で北海道の名産品をもらえるとは嬉しい♪

お客様から  
の主なお声



## そのお声を実現します!「ピーくん100のトライアルコーナー」

「こんなお店あったらいいな…」というお声から、新しいトライアルを100個用意し、お客様と一緒につくっていくコーナーです。禁煙や広い遊技スペースなどのトライアルからはじめました。

- ・今までにない遊技環境がいいね!
- ・スマホを置く場所が欲しかったからありがたい

お客様から  
の主なお声



### VODコーナー

古典から話題の作品まで、200タイトル以上の映画を自由にお楽しみいただけるオーディオスペース。



- ・ふたりで来た時の待合せで便利!
- ・この映画ずっと観たかったんだよ

お客様から  
の主なお声

### スロットパーソナル

業界でもまだ目新しいスロットのパーソナルシステムを導入。お客様の利便性を考えた選択です。



- ・はじめは面倒かなと思ったけれど使ってみたら便利だね
- ・目の前で獲得枚数が分かるのが良い

お客様から  
の主なお声

## ユニバーサルマナーを習得したスタッフがご対応

身体の不自由なお客様にも安心して楽しんでいただるために、スタッフ全員がユニバーサルマナーを学び、資格を取得しています。



## 遊技台ご案内システム 「プレサポ君」

タッチパネルで自分の遊びたい台を見つかります。ピーくんガーデンだけでなく、エリア3店舗の遊技台データが閲覧&印字できます!

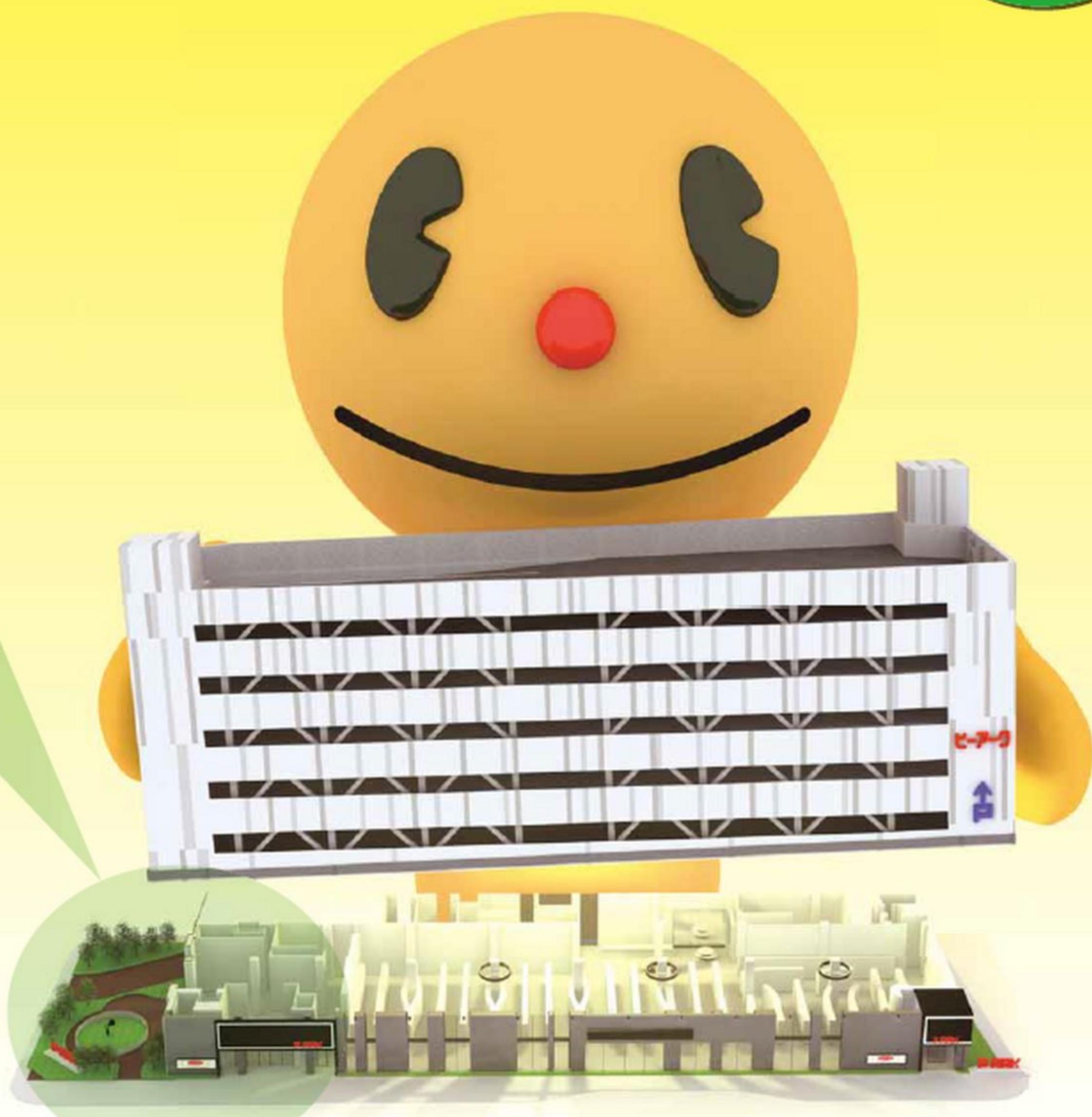


# ピーアーク ピーくんガーデン

This is an open space which everybody enjoys. Produced by P ARK.



コミュニティ  
ガーデン



## コミュニティガーデン

これまでのピーアークのお客様層を超えて、幅広い層の方にご利用いただき、日々たくさんのお貴重なお声をいただいています。

これからも地域のお役立ちのために様々なトライアルにチャレンジします！

「プレイガーデン」の隣にある「コミュニティガーデン」は、街のお役立ち機能として、パチンコ・パチスロで遊ぶ・遊ばないにかかわらず、どなた様にもご利用いただける営業外スペースです。これまでのピーアークのお客様層を超えて、幅広い層の方にご利用いただき、日々たくさんのお貴重なお声をいただいています。



## コミュニティルーム

地域の方に自由に使っていただくこと、そして楽しんでいただくことを目的として作られたお部屋です。ココでは、ママ会や、サークルの打ち合わせ、誕生日会やお弁当づくり教室などが開催され、多くの方にご利用いただいております。たくさんのコミュニティが生まれました。

- ・生活の刺激になってとても楽しかった!
- ・音楽演奏してもOKなんてありがたい
- ・ここで新たなお友達もできました!
- ・子連れもOKな講座もあって嬉しい
- ・子供を遊ばせながら、ママ友と話せるのはありがたい
- ・しかも無料とは!
- ・コンビニも近いし、使いやすいです



お客様から  
の主なお声

## ドッグサークル



お散歩ついでにワンちゃんとリード無しで触れ合える空間ができました。ピーくんのトピアリーがお出迎えします。

- ・近くの公園が、今までの散歩コースだったんだけど近くに来るとワンちゃんがコッチ(サークル)がいいってリード引つ張るの(笑)
- ・ワンちゃん見てると、こっちも癒されるよ



お客様から  
の主なお声

## リフレッシュコーナー

お楽しみの合間にちょっと一息つけるリラクゼーションスペース。  
ハンギングチェアでくつろぎながらゆったり癒しの時間を過ごすお客様急増中!

- ・毎日ここに癒されに來てるんだ!
- ・ここで血圧測るのが日課になっているから頑張って來たよ



お客様から  
の主なお声



### その他のお声

- ・パチンコ店がある事がすこし気になっていたが、こんな施設ならありがたい。イメージが真逆になった。
- ・お友達に「ね!今までこんな所無かったでしょ!?」って自慢してしまいました。
- ・水耕栽培のケースの中で毎日少しづつ育っていくのを見るのが楽しいです。



# 構造改革チャレンジ プロジェクト



より多くのお客様に、  
より長く楽しんでいただ  
くために、今期からス  
タートした「構造改革  
チャレンジプロジェクト」。  
コスト改革で「お客  
様のための再来価格」の  
実現に挑戦しています。  
組織を横断して各部門、  
各店舗のスタッフ全員で  
知恵を出し合い、コスト  
改革のための様々な取り  
組みをスタートしています。  
各店・各部署の活動の一  
部をご紹介いたします。

## 全社各部門でのコスト削減検討

各店舗、部署でそれぞれどのようなコスト削減や効率アップができるか検討する時間を設け、毎月全社で共有を図り、良いアイデアの横展開を実施しています。実質的な効果だけでなく、全スタッフのコスト意識向上など、意識改革にもつながっています。



### より効果的な清掃テクニックを 全スタッフで習得

遊技台やフロアをより綺麗に、より早く清掃するために、清掃の専門会社からテクニックを学び全スタッフのレベルアップを図っています。



### 個別で管理していた 備品を一元管理へ

従来、各店舗・部門ごとに発注管理していた備品類を、一括管理へ変更しました。管理帳票やオペレーションも併せて見直すことで、コスト削減だけでなく、管理場所の省スペース化や、時間効率の向上にもつながっています。





### 電気使用量削減に全員で取り組むパワーマネジメント

電力管理システム「見えタロー」での数値管理を元に、遊技台電源・空調・照明のON/OFF時間や場所を徹底的に見直しました。機器類から、バックヤードまで、店舗スタッフみんなで担当を分担し改善しました。



### 遊技台の導入・入替作業の効率化

遊技台の入替作業は、夜間に行われるため、多くのコストが発生する作業のひとつです。そこで、作業の役割分担・期日設定を見直し、スタッフの勤務時間の調整や、作業スキル向上による効率化を進めました。



一連の活動により  
前年同期(上期)  
対比約5%の  
コスト削減を実現



全社の取り組みの中でも、上期において特に優秀な店舗・部署を讃える表彰式も行われました。

# Fun for ピーくん!



そして今日のワクワクを超えるワクワクを皆様へお届けしようと、ピーくんが街にくりだしています。

メッセージは「いつも、次のワクワクを。」これには、たくさんのハッピーが「湧く、湧く」溢れ出し、お客様の期待が「沸く、沸く」沸き立つという2つの思いが込められています。

## 草加よさこいフェスティバル&ふささら祭り

- 草加よさこいサンバフェスティバルに参加。今年のよさこいの衣装は、ピーくんを背中に大きくあしらった新しい衣装。ピーアークスタッフ一致団結したよさこい踊りで会場を盛り上げました。



## 託児サービス

- 託児サービスを行うcham<sup>チャム</sup>さんとコラボして、音楽イベントa-nation等のイベントに参加するお客様向けの託児サービスに参加。「ピーくんつみき」で遊んだり、新しい友達を作っている様子。広がるピーくんの輪!



## ところざわまつり

- 所沢のお祭りに参加。ピーくん登場で子供たちの行列ができました。



## 綾瀬ママフェスタ

- 「ピーくんガーデン」コミュニティースペースの利用者の方々が開催するママフェスタに参加。ネイルやデコレーションの講座を行うママさんたちの側で子供たちと遊ぶピーくんはとても楽しそう!





11月22日～23日  
世界キャラクターさみつと  
in羽生2014



今年で参加も5回目となる羽生の世界  
キャラクターさみつと。初めてのファッ  
ションショー「はにゅコレ」に参加。2日間  
の来場者数は約41万人!!

## ピーくんの テーブルゲーム

- 毎年恒例の「幕張メッセ・どきどきフ  
リーマーケット」。2014年の来場者は  
述べ20万人!今年のピーアークブース  
に新しく加わったゲームコーナーから  
「ピーくんのカードゲーム」と「ピーくん  
つみき」が商品化しました。ご家庭でも  
ピーくんと遊べます。



## 日遊協パチンコ&パチスロフェスタ

- (一社)日本遊技関連事業協会が主催する秋葉原で行われたフェスタ  
に参加。秋葉原の街でも「あ、ピーくんだ!」と声を掛けてくれるお客様が!  
ピーくんの人気者への道はまだまだ継続中です。



- メーカー・ホール企業各社キャラ  
クターの人気投票を行う「P  
キャラグラランプリ」に参戦!今  
回の結果は8位。

投票してくれた皆さん、  
ありがとうございます♪♪



## 谷中しょうぶ沼公園まつり

- ピーアークが3店舗を構  
える綾瀬エリアで毎年行  
われる夏祭り。地元の方  
にすっかり顔なじみの  
ピーくんは盆踊りの輪に  
加わったり、写真をとった  
り大忙し!ピーアークの屋  
台ではヨーヨーすくいに  
行列が!



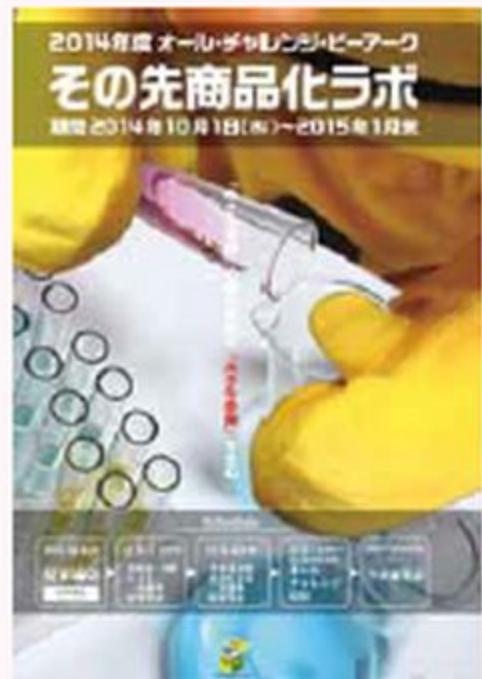


その先商品化ラボ

LABORATORY

# 新マーケット 創造へのトライアル

「お客様の期待価値」を創造し、社会から期待される存在になる。「この理念に基づき、様々なチャレンジやトライアルを引き続き実行しています。お客様が何を求めているのか、お客様さえもまだ気づかれていない答えを見つけるために、ピーアークは「その先商品化ラボ」での活動を継続し、これからも「新ハッソー」に挑戦し続けていきます。



## シェア・プラザ

~毎日の生活を少しずつ楽しくする小さな箱=FUN BOX~

シェア・プラザはFUN BOXという発想から生まれた竹ノ塚駅前2分「ピーくんPlaza」の2階にあるレンタルルーム×イベントスペースです。地域の方々が、もっと気軽に楽しい時間が過ごせるように、もっと気軽に楽しいことが体験できるようにと作られました。パーティーや懇親会など、営利目的でないご利用の場合は無料にて解放しています。ゲームやセミナーなどのイベントも開催されています。地域の方々の生活時間の中に「ピーアーク」が楽しい存在としてあるようお客様の声を活かしながら日々挑戦中です。



会議室に! イベントに! セミナーに!

## 遊技機の魅力を引き出すモバイルサービス

~原作を知ることでもっと好きになる~

遊技機は、アニメ・ドラマ・映画と様々なコンテンツがあり、演出も多彩です。華やかさは増加したものの分からない演出もしばしば…「あれ? この演出どんな意味だろう。」原作を知ることでそんなお客様の“わからない”を解決するサービスをトライアル導入いたしました。QRコードを読み込むと、DMM.com様のサイトへ飛び、気になる原作がすぐに手に入るという仕組みです。原作を知ることで、遊技機の魅力が最大限伝わり、お客様の“もっと好きになる”を応援する新しいサービスです。





## ぱち☆コン!! パチンコをつながりの場に



パチンコを通して、知らない者同士が“出逢う”。「パチンコが誰かと誰かの縁のきっかけになる」そんな思いを実現したこの企画。9月下旬に、新店ピーくんガーデンのコミュニティームにて開催されました。主催はお笑い芸人＆パチスロライターの栗山直人さん。イベントに集まった参加者のみなさんには、共通の趣味である「パチンコ」話で多いに盛り上がり、楽しい時間をお過ごしいただけたようです。

## 海外観光客向け遊技レクチャーア会

Oh! Yeah! Pachinko!

**Pachinko Night  
Oh!Yeah!Pachinko!**

**Free Food&Drink**  
if... "LIKE" us and sharing dialog on Facebook

Oh!Yeah!Pachinko!

**14.Oct**  
**18:30~21:00@ Ninja Basement**

What is "Oh! Yeah! Pachinko" ?  
Have you ever played Pachinko? Pachinko is a popular game playable ONLY in Japan and you could never know what Japanese amusement is without. This party, named "Oh! Yeah! Pachinko", is a prime opportunity which you will find what Pachinko is and how you play! So don't miss it!

What is Takoyaki?  
Takoyaki is a Japanese dish particularly in Osaka.

**Simultaneous Holding**  
**Takoyaki Party**



“外国の方にも「パチンコ」という日本にしかない遊びを知ってもらいたい!!”そんな思いで“その先商品化ラボ”へ提案されたアイデアがついに実現しました。協力をいただいたのは、海外から多くの人が訪れるゲストハウス「カオサン忍者店」様。浅草橋からすぐの場所にありアクセスが良好です。毎月行う宿泊者向けのイベントと同時に遊技のレクチャーア会を開催。アニメ遊技機の人気が高く、盛況でした。遊技に興味を抱いたお客様は英語対応が可能なピアーカー銀座へご案内。国を越えて「パチンコ」で笑顔が繋がる瞬間はとても貴重な瞬間でした。2020年のオリンピックイヤーに向けて参加人口増加への期待が高まります。

# 社会を エネルギー 「共育」のバトン

ピーアークホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長

## 庄司 正英

スペシャルオリンピックス日本と  
ピーアークとのつながり

今回は、バルセロナ・アトランタのオリンピック女子マラソンで2大会連続のメダリストに輝き、現在は公益財団法人スペシャルオリンピックス日本で理事長を務める有森裕子さんに、現在の活動やこれからの方針についてお聞きしました。

庄司 有森さんは初めての顔合わせとなりますが、お客様の代表として有森さんに実際の活動の内容、これからの方針などについてお話を伺いますので、よろしくお願ひいたします。

さて、私たちピーアークのチャリティーはお客様の参加型なんです。全店の店頭では支援を行っている団体の活動内容をお客様にもわかりやすいように、映像やポスターでアピールしています。それをお客様がご覧になつて、景品交換の時に余った玉がでた

# チャレンジは 動かす 未来につながる

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
理事長

有森 裕子氏

ら、お客様のご意志を確認して募玉にします。その数に相当する金額を当社が寄付をいたします。このように、営業を通じてピーアークのお客様が一體となって、社会貢献活動を支援していく「絆」モデルです。

有森

キャラクターのピーケンはとても身近に感じていたのですが、庄司さんは、いろいろとタイミングが噛み合いませんでしたので、本日の対談を楽しみにしておりました。お客様が私たちの活動を理解していただいた上でご参加してくださっているのですね。それにしてもこの社会貢献のアイデアは素晴らしいですね。お客様もこのような形で社会貢献ができると知つて感心されたのではないかでしょうか。繋ぎ方の発想は実に意外で、とても美しいと思います。本当にありがとうございます。

スペシャルオリンピックスの  
発祥は米ケネディ家

庄司 そう言つていただけて光栄です。それでは、まずスペシャルオリン

ピックス(以降、SO)について少しお伺いしたいと思いますが、この活動の始まりはアメリカのケネディ家が始めたことと聞いて驚きました。

**有森** はい、そうお聞きになられて驚かれる方も多いのですが、ケネディ家には知的障がいのファミリーがいました。ユニス・ケネディ・シュライバーが知的発達障がいを持つ姉を通して見た社会を「これは違う」「こんな待遇はおかしい」と感じ、スポーツのデイキャンプを通じ、知的障がい者のことをもっと社会に知つていただこうと活動を始めたのがSOの起点にあります。

**庄司** なるほど。創業の地、竹の塚にも障がいをお持ちの方のための支援センターが有り、駅前でも施設利用のお子さん達を見かけていました。この活動に携わるまでは少し距離感があつて、何かお役立ちをするにも戸惑っていました。



ましたが、スペシャルオリンピックス日本(以降、SON)の支援を始めてからは、気軽に声をかけられるようになりました。SONのお蔭で彼らがとても近い存在になりました。

## 可能性を見つけ 「生きていくこと」を教えたい

**有森** そうですか。私の場合、母が岡山の養護学校の事務をやっておりましたので、地域のイベントには必ず出席していました。ですから、障がい者の支援活動にも自然に入ることができましたね。この活動に参加するようになって、もっと幅広い意識で、知的障がいの方をはじめ

**庄司** なるほど、初代理事長の細川さんは彼らに惜しみなく愛情を注ぐというスタイルでした。が、有森さんに代わってからは、同じアスリートとしての目線で、スポーツを通じてサポートするというよりは、仲間というような雰囲気になつたのではないか

**庄司** アスリートとしての有森さんはSONに関わられてだいぶイメージが変わった印象がありますが、理事長を任されてからもうどうくらい経ちましたか？

**有森** 理事長職に就いてから、も

う6年が経ちました。2002年に細川佳代子さん(SON初代理事長)からドリームサポーターをやつていただけないかとのお話を戴きました。当時はSONのことは何も知らない、知的障がいをお持ちの方はスポーツをやらせてもらえないと知つて驚きましたね。でも私と同じようにスポーツで世界を目指す人がいるのであればご協力することを申し出ました。今では「スポーツで頑張ってきた時間」を活かせるこのようなセカンドキャリアに出会えたことを幸運だと思ってい

ます。

**庄司** なるほど、初代理事長の細川さんは彼らに惜しみなく愛

情を注ぐというスタイルでしたが、有森さんに代わってからは、同じアスリートとしての目線で、スポーツを通じてサポートするというよりは、仲間というような雰囲気になつたのではないか

**有森** そうですね、運営のスタッフは時代の流れによつても

変わりますが、愛情で受け入れ育んできた活動を、今は私が受け継ぎ、更に社会に対し馴染ませるという流れでしょうか。ス

ポーツを通じた様々な活動なのでアスリートたちの心境はよく解ります。時には厳しく、時には優しくもできる立場でいられることは非常に良かつたと思います。

**庄司** 有森さんの説く、厳しさとはスポーツで強くなることを教えるのでしょうか。

**有森** いいえ、違います。あたり前の日常です。競技は普通にできるものとして、競技以外の時間にも「自分にはこれができる」という事をSONでは学んで欲しいと思っています。なぜなら、そういうことが、アスリート達の今後の生活の大半を占めるからです。競技生活はある程度の期間で終わるのですが、生きていくための

日常生活は一生続きます。SONを通して指導していく」とは「生きていくこと」です。

## 先駆者として乗り越えた壁

**庄司** なるほど。私は、プロアスリートの草分け的存在ともなった有森さんは、メダリストだからではなくスポーツ選手の「イノベーション」な存在になる

と思いました。マラソン競技は忍耐と根性の象徴のイメージの「イノベーション」が始まっています。

だつたのですが、「自分をほめたい」あの言葉で、新しい選手像がイメージされました。今、オリンピックへの参加選手は「オリンピックを楽しんできます」と皆さん言いますが、あの時代はプレッシャーでそんなことを言えるような時代ではありませんでしたね。でもあの一言を突破口にしてスポーツを楽しもう！その「イノベーション」が始まっているのではないかと思っています。

忍耐、根性、日本を背負って走つた、円谷幸吉さんのイメージでした。私が現役で走ったあの時代は「思い切り自分の人生を兼ねて、アピールしていいんだよ」ということを認めてくれる方が増えた時代でしたので、私自身にとつても良かったですし、私の後に続くアスリートにとつても、あの一言が良いスタートになつたのかな？という思いはあります。

**庄司** 名言ですね。私も実は銀行

を辞めてパチンコ業界に入つて、最初は仕事が面白くなかった時代がありました。毎日お店に立つているとお客様からは今日も楽しさなかつたという連呼とクレームの毎日でした。当時の業界の常識はお客様の損が店の儲けでしたが、商売の常識は両者の得が当たり前です。私自身この目の前の難題に向き合つてパチンコを時間消費型レジャーという新しい発想でビジネスモデル化にトライアルしました。業界を顧客視



点で再設定してパチンコのイノベートに取り組みましたね。このチャレンジが(社)ニュービジネス協議会(現 東京ニュービジネス協議会)に、旧態依然としたパチンコを業態改革したと評価され、アントレプレナー大賞を受賞し、そのご縁もあって今は副会長を務めています。

## 「自分をほめてあげたい」 名言の背景にあつたもの

庄司 さて、常識を変えるとは、限界を超えること。当時のあの有森さんの名言に対する私の解釈は、自分の限界を越えて、自らの常識であるすべての壁を超えた宣言、ということでした。自分がほめてあげたいという意味の真相を一番知りたいところで、しかし、あれはすごいレースでしたね。

有森 そうですね。しかしあのレースを終えた後のインタビュー

ハンディを超え、過去の自分を超え、新たな未来にチャレンジする姿はとても美しい。



で、あの言葉を口にするまでには、バルセロナからアトランタまでの4年という長い時間がかかりました。バルセロナを終え、私はアトランタオリンピックに出るとは誰も思わなかつたはずですし、故障もしていました。いろいろな葛藤も重なりましたが、最後には自分を奮い立たせるために踵の手術も受けました。手術は成功したもの、五里霧中のようなところにメダルを獲るという目標をおき、毎日の練習がチャレンジの連続でした。あの言葉はどれだけ周りから不可能と思われても、それを乗り越えてメダルに到達したことに対して、自分自身に向けられた言葉でした。「何で頑張れなかつたのか」というレースはしたくなかったし、今回はそう思つてはいませんし、初めて自分で自分をほめたいと思ひます。」という1フレーズが出てきました。

庄司 そのストーリーは感動創造

ですね。我々ベンチャー経営者の掟は、チャレンジジャーであり続けることです。人生は挑戦の連続運動で、それを楽しむことでしょう。

いま理事長自らが、活動の中心に一緒に入って指導している姿は、素敵で楽しそうですね。彼らもすごく勇気づけられていると思います。11月に行われたナショナルゲームの福岡大会にはピーナルゲームから10名のボランティアスタッフを派遣させていただきました。

彼らはボランティアスタッフの一員として携わらせていただき、多くの経験をすることができるだけでなく、全員がとても良い顔になつて帰つてきました。参加することで彼ら自身が、選手の皆さんから元気をいたしました。今年はSONにとつて特別な大会になりました。まず、SOの御本家である、ケネディ家の方も交えての大会になりました。ナショナルゲームにインター

ショナルクラスの方々が足を運んでいただけたのはとても光栄なことです。来年はSONの世界大会がアメリカ・ロサンゼルスで開催されます。この流れは、SONの活動を広く社会に知らしめには最高のタイミングでしたから、この千載一遇のチャンスを「しっかりと掴んで離さない」と気合が入りました。

**庄司** 私もメダル授与のお役目をいただき、当社のスタッフとともに勇んで参加いたしましたが、自分の壁を超えたアスリートをたたえる役目は大変光栄でした。ハンディを超え、過去の自分を超えて、新たな未来にチャレンジする姿はとても美しいと感じました。

**庄司** ところで2020年に東京オリンピックが開催されますか？

## 2020を目指して

**有森** はい、私たちの世界大会はオリンピック、パラリンピックの前年に開催されるのですが、2020年にオリンピックが東京で開催される流れに乗つて、私たちのSONをアピールできるようになります。私自身、この活動に係る皆さんと共に育つ団体としてはモチベーションを上げていればとモチベーションを上げているところです。2019年の開催は難しいのですが、2023年に招致の場所として東京を入れたいなと思っていますが、各方面に働きかけをしていくところです。

**庄司** 私たちにとつても2020年というのは長期経営ビジョンの最終年度で、「Fun for Life」へ私たちの仕事は、世の中を楽しくすることをクレドに置いて、当社のミッションとして頑張つているところです。2023年の大会が決定すれば、グループを挙げてボランティアをさせて戴きましょう。

**有森** SON以外での「Fun for Life」というと、社会貢献活動を行っていることがありますか？

思っています。何よりも参加する方がが活動を通じて元気になつていくということを聞かされ、私たちもこの活動の奥深さを改めて感じています。私自身、この活動に係る皆さんと共に育つ団体でありたい、まさに「共育」の場にしたいと思ってこれからも活動を続けていきます。

## Fun for Lifeの歩

私は、SON以外での「Fun for Life」というと、社会貢献活動を通じて、自分もまだ育ててもらつているところです。また、自分が一生懸命取り組んできたスポーツで世界と繋がつていける「可能性」をまだまだ楽しんで行きたい

**有森** 今年はSONにとつて特別な大会になりました。まず、SOの御本家である、ケネディ家の方も交えての大会になりました。ナショナルゲームにインター

**有森** ありがとうございます。お陰様でボランティアの方も「ここで世界と繋がつていける「可能性」をまだまだ楽しんで行きたい

と思つております。そして、まだ自分の楽しんでいない領域を見出していくことに繋がればいいなと思う事が、日々の楽しみですね。自分で見つけていけることは限られるのですが、「人との出会いが人生最高の栄養」と感じています。ですから、次にどんな栄養素を自分が吸収できるかなという事を楽しんでいきたいですね。

**庄司** なるほど、障害者総合支援法などいろいろな法律が整備されつつありますが、社会がこういう形で、まさに「インクルージョン」みんなで助け合うという社会に向かっています。ダイバーシティな社会に向け、現状とのギャップをいかに埋めていくかが課題でしょうか。

## 社会をも動かす 強いエネルギーをつくる

**有森** もう待つ時代ではない

と思います。社会の中で当たり前の存在になろうと思えば、望む前に本当に自分たちの動きがここまで良いのか考えなければなりません。「パラリンピアン」が以前よりもアクティブルになり、自分たちから言葉を発するようになつてきましたよね。彼らも自分達の成長をもつと見せるような動きを同時にしているかないと駄目でしょね。

つまりは、社会が動くのを待つてはいるだけでは、物事は進まない。けれども、結局社会が動く瞬間というのは、強いエネルギーを感じた時で、その時には必然的に社会のほうが動かざるを得なくなるはずだと思っていますので、これからも積極的に働きかけていくつもりです。

しいて課題を上げるとするならば、指導者というのも皆さんボランティアで、指導者としてのレベルは様々です。無償で

やつていただける人材は良くも悪くも色々な差があるのが現状です。本当はその競技の高等な厳しさを教えられるレベルの指導者を揃えていかなければならぬと思つています。それができれば、全てのアスリートたちのレベルを更に引き上げていくことができると思います。

**庄司** 社会とのつながり、絆の

パワーは改めて広く強いと感じています。そんなことを強く感じるのが、新規店舗「ピーカンガーデン」に併設した「コミニティガーデン」や昨年10月にオープンした「ピーカンPlaza」に新設した「シェア・プラザ」です。これは、店舗営業エリアに隣接した場所に「パブリックスペース」を設置したモデルなのです。ですが、足立区のコミュニティサイトを通じて、ママ友会、カルチャー教室、地域ボランティアなど利用者のネットワーク

は日々広がっています。利用された方はFacebookなどのSNSを通じ、その場所での情報報を拡散している様子が見受けられます。そのような利用者の行動様式から、社会と企業をつなぐ新しいマーケティングの可能性を発見しました。それは、今まで、パチンコをするお客様だけが私たちのマーケットであるという狭い視点から、同一のコミュニティに存在する



パークハイアット東京にて開催された  
「スペシャルオリンピックス日本20周年記念」にて。



スペシャルオリンピックス日本2014福岡大会では表彰式でプレゼンターを務めました。

けれども、パチンコをしない人たちに対する絆づくりのアプリークによって「ピーアークはいいね！」を共有するというものです。

絆づくりのバリエーションとネットワークの広がりの速さは、その可能性に力強くタッチしていく「ブランドビジョン2020」へと向かうための未

同級生に居ました(笑)。

**庄司** 当時のパチンコはアナログスタイル。釘を見て出る台を見つけ弾く技術を持つ人が勝っていました。今、パチンコはICプログラムの塊で確率論です。逆に考えればビギナーでも勝てるチャンスがあるという事です。しかし3000万人いたファン人口は当時の1/3程度までダウンしました。その原因としては、時間当たりの余暇時間をSNSやモバイル

来マーケティングにつながるだろうと確信しています。

ところで対談の御相手に必ずお聞きことがあるのですが、有森さんはパチンコの経験はありますか？

有森 残念ながら、自分自身はないですね。大学時代に上手な先輩がいて、景品をたくさん持つて帰っていましたね。そういうば、パチンコ玉を作る会社の「子息が

**庄司** 当時のパチンコはアナログスタイル。釘を見て出る台を見つけ弾く技術を持つ人が勝っていました。今、パチンコはICプログラムの塊で確率論です。逆に考えればビギナーでも勝てるチャンスがあるという事です。しかし3000万人いたファン人口は当時の1/3程度までダウンしました。その原因としては、時間当たりの余暇時間をSNSやモバイル

地域と信頼関係で繋がる店舗づくりを目指します。この領域はピーアークの得意技でもあります。これからもお客様と共に参加するチャリティー活動やボランティア活動を「Fun for Life」で続けていきます。

有森 活動を実際に経験していただいた方々に、体験したことを思い浮かべながら、本来の現場で活動の支援をしていただけます。私たちも安心して頑張れます。支援していただける方すべてが活動に参加する方と楽しく思ってくれる方が、私たちにとっても、アスリートにとつても、嬉しいことであると感じています。これらも応援をよろしくお願ひ

ゲームなどの時間消費に奪われているからだという意見もあります。そして今、業界は縮小する中、店舗はどんどん大型化しています。

そのような環境の中、当社は地域と信頼関係で繋がる店舗づくりを目指します。この領域はピーアークの得意技でもあります。これからもお客様と共に参加するチャリティー活動やボランティア活動を「Fun for Life」で続けていきます。



## Profile 有森 裕子 氏 Yuko Arimori

1966年岡山県生まれ。バルセロナ五輪銀メダル、アトランタ五輪銅メダルに輝いたマラソンランナー。現在はアスリートマネジメント会社『RIGHTS.』取締役、日本プロサッカーリーグ理事、スペシャルオリンピックス日本理事長、厚生労働省いきいき健康大使等を務める。著書に『やめたくなったら、こう考える』(PHP研究所)、『わたし革命』(岩波書店)など。

たします。  
**庄司** 本日は貴重なお話、そして楽しいお話をありがとうございました。  
(敬称略)

# スペシャルオリンピックス日本



Special Olympics Japan

## 2014 夏季ナショナルゲーム福岡

### ボランティア派遣報告

#### スペシャルオリンピックスとは

知的障がいのある人たちに様々なトレーニングとその成果の場となる競技会を提供している国際的なスポーツ組織です。

1968年、故ケネディ大統領の妹ユニス・シュラライバーが、当時スポーツを楽しむ機会が少なかつた知的障がいのある人たちにスポーツを通じ社会参加を応援する組織を立ち上げたのが発端で、いまも世界にその活動が広がり続けています。

ピーアークでは2005年「<sup>エイブル</sup>の2」という知的発達障がいのある青年2人のドキュメンタリー映画製作に協力したことから繋がりが始まりました。現在は募玉、大会協賛の他、ボランティア活動を通して支援をおこなっています。募玉は大会開催費や、スポーツプログラムの支援に活用されています。

#### 2014夏季ナショナルゲーム 福岡大会への協力

今年11月1日～3日に福岡でスペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲーム福岡が開催されました。ピーアークからは、社員10名がDAL(デリゲーション・アシスタント・リエゾン)と呼ばれるボランティアスタッフとして、アスリートとコーチが競技に専念できるよう、様々なサポートを行ってきました！

2014.11.01～03  
スペシャルオリンピックス  
夏季ナショナルゲーム福岡開会式

## 2005～の継続的な活動支援

スペシャルオリンピックス東京の皇居ウォーク&ランへの協賛や2012年2月に行われた冬季国内大会へのボランティア派遣、イベント参加費用が運営費に寄付されるエールランなど、継続的に参加し、共に活動を盛り上げてきました。



# ボランティアスタッフ奮闘記!



選手のみなさんを試合会場へご案内



会場でビーくんのバックを配りました!  
選手団のみなさんもリラックスして笑顔に^^



開会式前の打合せ風景。緊張がはしります。



ビーくんも交えて選手達との談笑のひととき♪

ビーアークが実施している団体への寄付を募ってあります。

**ビーアークは、スペシャルオリンピックス日本を応援しています!**

スペシャルオリンピックス日本は、社会がいのちある人たちに様々なトレーニングとその結果の発表となる競技会を開催している国際的なスポーツ組織です。若玉は大会開催費やスポーツプログラムの支援に尽力されます。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



QRコード

スマートフォンで読み取る

かざして募金

- 1 App Store & Google Play® で「スマートフォンアプリ」をダウンロード。
- 2 アプリを立ち上げ、読み取ることをして読み取ります。
- 3 「読み取った金額を支払う」画面を選択して読み取ります。



たくさんの感動と笑顔の溢れる大会となりました

ピーアークでは期間中、全店にPRポスターを掲示。スペシャルオリンピックス日本の活動を啓発する支援の一環として、スマホをかざすだけで募金ができる「かざして募金」を実施しました。

富士ゼロックス人材派遣部

2014/1/1.2.3

シッタ日本・福

2014年  
1月  
1日  
2日  
3日

ピーアークではスペシャルオリンピックス日本以外にも  
様々な活動を継続しています。

# ピーアークの チャリティー活動



2009年夏から「ピーコンチャリティー」の一環として支援を開始したんだ。ピーアークは「+1の森プロジェクト」の会員番号1番として、森の再生のために募玉で継続的に支援を行っているよ。



## 世界の子どもにワクチンを 日本委員会

予防可能な感染症で命を落とす子どもたちが数多くいる発展途上国にワクチンを贈る民間の国際支援団体。募玉は、ワクチンや接種に必要な機材の購入、輸送費などに活用されています。



1994年の設立当初から、募玉で支援を開始したんだ。2009年からは、ゴールドスポンサーとして協賛しているよ。現在の取組みは募玉に限らず「エコキヤップ回収」「1 Thank You 1ワクチン」「古本回収」「切手回収」と、様々な形で支援中なんだ!



## ピーくん+1の森 (長野県王滝村)<sup>プラス</sup>

森が健康な状態を保てるよう、間伐や下草刈りなどを行って自然を守る「+1の森プロジェクト」を実施。



## コラボ・スクール (NPOカタリバ)

震災で勉強する場所「学校」を奪われた子供たちに夢を諦めて欲しくないという想いから、放課後学校を始めたことで多くの子供たちが勉強の意欲を取り戻しました。募玉は、「コラボ・スクール」の運営に活用されます。

2011年、東日本大震災直後に支援を開始。寄付や、毎年行われている“幕張メッセどきどきフリーマーケット”で来場者に活動紹介して知っていただくなど、周知活動で支援を継続しているよ。





# Fun for Life

を求めてVol.12

世の中を楽しくする、  
そんな「コミュニケーションロボット」があるんだって!  
ロボットと聞いただけで、なんかワクワクしちゃうなあ。  
今回は東京三鷹の閑静な街並みの一角に、  
オリイ研究所さんを訪ねてきました!

β-KUN

人と人との結び、  
未来へ夢をつなぐ。

コミュニケーションロボットの可能性

ありがとう、実はもうひとつの名前には  
由来があるって、開発者 吉藤さんの「シクネーム  
からなんだ」。吉藤さんは子どもの頃、病弱で学  
校に3年間ずっと行けなかつたらしくんだ。友  
達に会えず寂しくすうすう中で、唯一の心の支え  
が創作折り紙だったんだって。その腕はプロ級  
で、みんなから折り紙の「オリイ」と呼ばれて  
いたんだって。

わあ～ とっても素敵な目的を持つて生まれ  
たんだね!!

離ればなれの一人が七夕の日に会えるよ  
うに、たとえどんなに遠く離れていても、誰かと  
誰かが「繋にじる」という実感と共につながる。  
私はそんな「つながり」を作る「ワカモケーション」  
ハロボットとして、生まれたんだよ。

OriHime ジーくん、はじめまして♪  
OriHime ふくふく。今度はロボットね。  
は『織姫』?

ピーチン ハーんにかせへせじぬまつて。今日  
はお盆ふどうのをとつても楽しみにしていま  
した♪



すゞ：「うーん。OriHimeさんの名前にして吉藤さんの原体験も込められているなんて、とってもいいなあ。

吉藤：ちなみに、折り紙はお手本などは見ずに、頭の中にある図面だけでいろいろな形を創作していたみたい。「いろんな作れるといいな」と考えたものを3次元化する延長で、私のようなロボットができたのかなあって、そばで吉藤さんを見ながら感じているよ。

吉藤：「ん～すゞ：こんな一歩つにはとても真似できないよ。あれ？ OriHimeさんはおどけにやっているのはカメラ？」

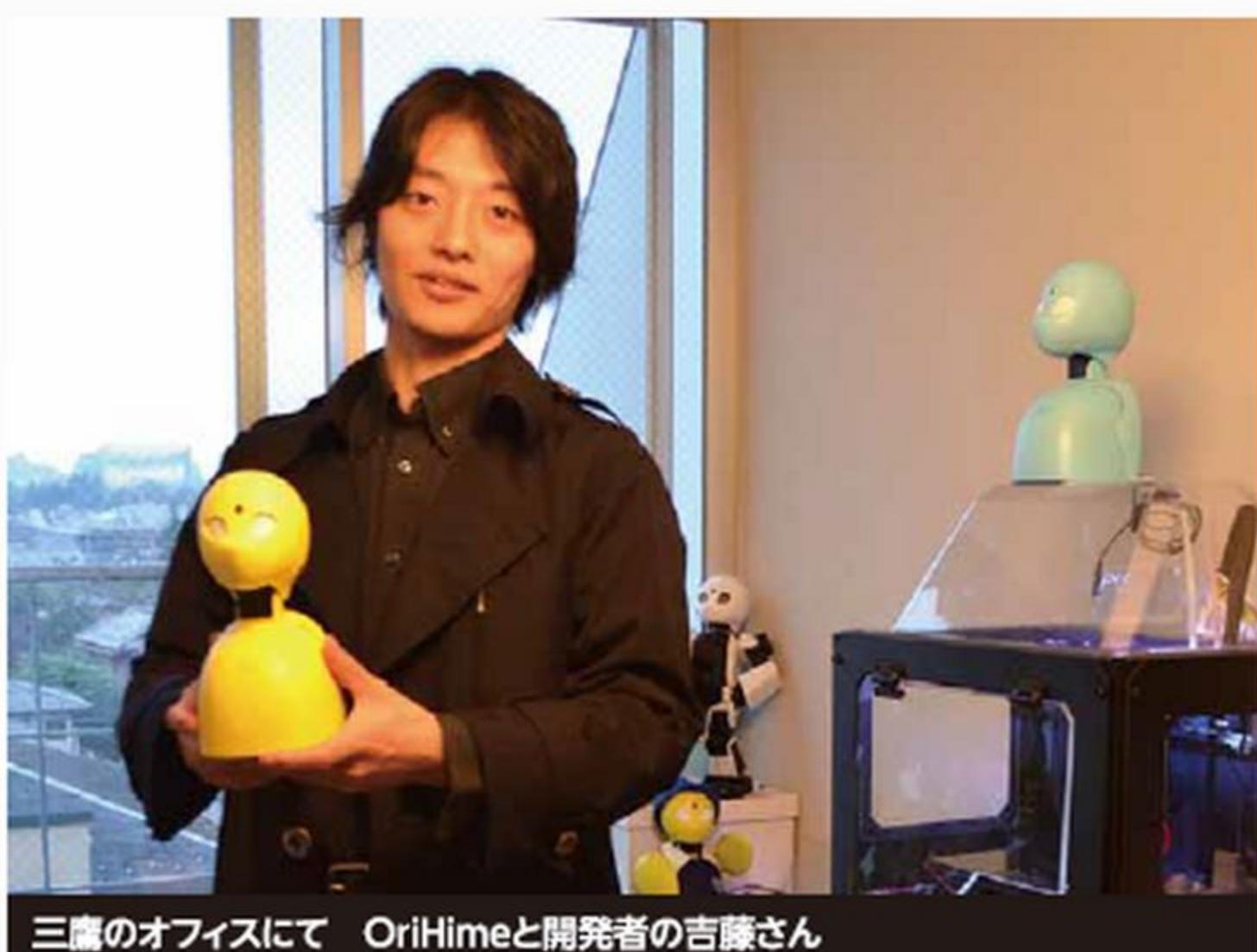
吉藤：「うん、そう。」これが私を通して人と人をつなぐ「田」だよ。胸にあるのは「耳」や「口」となるスピーカー。理由があつて外に行けない方でも、私を通して逢いたい人に逢えて、行ってみたいところにも行ける。「」く当たり前の日常生活をサポートしてあげられるんだ。

吉藤：例えば、あるご家族のお母さんが入院していた時、ちょうど桜の季節でどうしてもお母さんに桜を見せたい、一緒にお花見をしたいって子供たちに私が託された」と、ベッドにしながら家族みんなでお花見をしたこともあるよ。その時は私を介してみんながおしゃべりして、だんだん私のことが「お母さんに見えってきた」とて言って、子供たちがマフラーを巻いてくれたんだ。他

にも、病院の無菌室で長期入院中の小学生がPCで私を遠隔操作して家族団らんの時間を過ごしたこともあるよ。

吉藤：「ちょっと感動して涙が出そう…。OriHimeさんを通じてみんながつながるんだね。素晴らしいね。

吉藤：「ありがとうございます。むとむつとたくさんの人達のひとりで過ごせるようになりたいなあって思つているよ。



三鷹のオフィスにて OriHimeと開発者の吉藤さん



## 「みんなの夢AWARD」でグランプリを獲得!

「みんなの夢AWARD」はワタミグループ創業者 渡邊美樹氏が主催。「日本には、社会的問題を解決する事業がもっと必要である」という思いのもと、公益財団法人「みんなの夢をかなえる会」が中心となり、夢溢れ「ありがとう」が飛び交う社会の実現にむけた活動を展開。昨年の「みんなの夢AWARD2014」には451名の叶えたい「夢」が集まりました。最終審査の日本武道館ではファイナリスト7人が集結、吉藤さんは見事2014年のグランプリの栄冠をつかみ取りました。

吉藤さんを初めてお見かけしたのは「みんなの夢AWARD2014」。グランプリに輝いたんですね!これはピーアークも協賛しているイベントだったから、ボクもちょっと遊びに行つたんだ♪ その時、「ユニークーション」を助ける新しいコンセプトのロボットを開発されたというテーマのインパクトだけでなく、黒いマント姿の吉藤さんに、「マジシャン!」って驚いたんだよ!

吉藤 あはは(笑) ここにちはピーアーク君、僕は昔から規制品の服を着たことがなくて、これはボクのトレーディングカードみたいなものと言つてもよいかもしないね。これは高専時代に考えていて、当時は奇異な目で見られていたけれど、最近ではメーカーさんから商品化の企画プランも出たりしているんだ(笑)。実はこの裏側にはマジシャンのマントのような工夫も忍ばせてるんだよ。ほりー。(と話しながら、手元から折り紙を取り出し) はい、バラのできあがり♪

わーー折り紙がバラになつた!! 夢をかなえてくれる魔法使いだねーさつきOriHimeちゃんからもすこしお話を聞いてはいたんだけど、本当に折り紙の達人なんだね!



## PROFILE

**吉藤 健太郎** Kentaro Yoshifuji

オリィ研究所 代表取締役CEO

奈良県出身。高校時代に電動車椅子の新機構発明に関わり、2005年インテル国際学生科学技術フェアでGrand Award3位を受賞。高専で人工知能を学んだ後、早稲田大学創造理工学部へ進学し、対孤独用分身コミュニケーションロボット「OriHime」を開発。2012年オリィ研究所を株式会社化。「みんなの夢AWARD2014」グランプリ、「人間力大賞」など受賞歴多数。

**吉藤** うん、ボクの出身地の奈良では「奈良文化折紙会」の会長もやっていて、時々子どもさん向けて「おりがみ教室」を開催しているんだ。  
😊 ロボットだけではなくて、折り紙をつかって楽しさを伝える活動もしているなんて、なんだかとっても忙しそう…

この間もテレビの「コース番組」で、OriHimeをパリに運んで、日本の病院のベッドから遠隔操作を作ったよ。  
Web環境さえあれば、OriHimeで世界中どこでもいつでも人と人とを繋ぐことができるので、「この素晴らしいモデルを、ビジネスに結び付けたらどうか」とたくやんの方から後押ししされて、2012年に株式会社としてオリィ研究所を立ち上げることにしたんだ。いまは5人の仲間と一緒に研究開発を進めているよ。

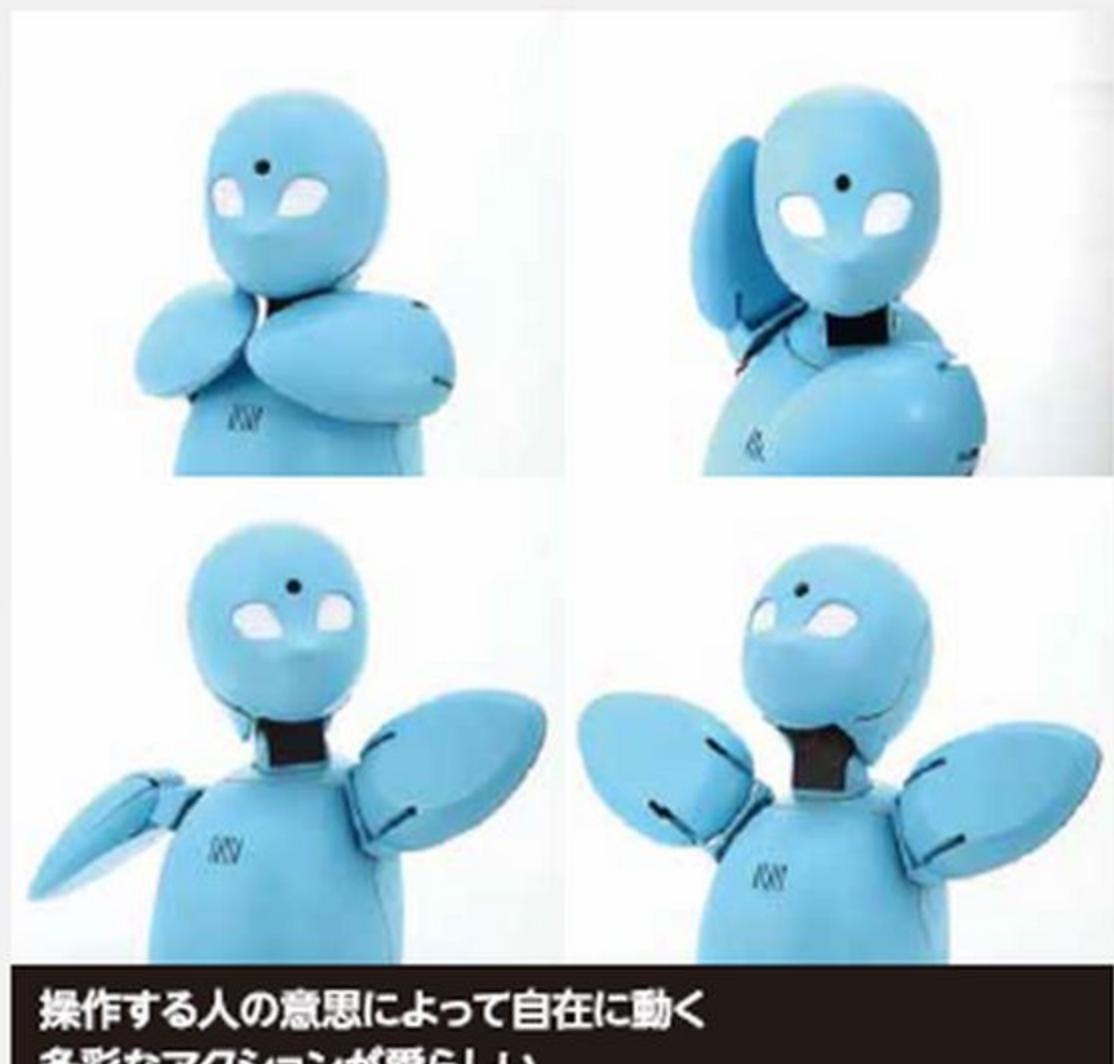
😊 そもそもロボットをつくるうつて考えたきっかけはなんだったの?

**吉藤** うん、忙しいけど楽しいよ。うやつてロボットの研究開発でジョンを世の中に発信していると、ビジネスコンテストでもたくさん賞をいただくようになって、メディアやアーティストの人達からも注目されるようになつたんだ。

**吉藤** 中学2年生の時にロボットコンテストで優勝したのがきっかけなんだ。そして高校在学中に「傾かずに段差も昇れる電動車いす」を製作。それが国際学生科学技術フェアで3位になつて、地元でちょっととした話題になつてね。うわさを聞いて訪ねてくれる高齢者のかたから日常生活の悩みや開発依頼が寄せられるようになつたんだ。そのお話を聞く中で感じたのが、「身体的な不自由よりも、孤独感のほうが辛い」という現実。車椅子の価値は、単なる移動手段ではなく、誰かに会いに行けることにあるよ



インタビュー中に折り紙を折る吉藤さんと、完成したバラ



操作する人の意思によって自在に動く  
多彩なアクションが愛らしい

吉藤 ありがとうございます。昔3年間も学校にいけなかつた時期、友だちに会えなくて寂しかった体頃。でも、高専は1年で退学して、その後ロボット工学で有名な早稲田大学に進学したんだ。でも、早稲田には僕の研究意欲を満たせる研究室が無かつたから、自分で研究室を立ち上げて、人の癒しに繋がるロボットの研究や「//」ショコノロボットについての研究を始めたんだ。

でも研究を始めるには「自分が//」ショコノロボットを取らなきゃ」と思つて、人見知りながらも社交ダンスや、ヒッチハイク、子どもキャンプ、パントマイムにもかなり凝つたりしたなあ。パントマイムって本当に不思議で、演じていると実際にはない物をあたかもそこにあるよう感じた瞬間があるんだよね。そういう感覚が、ロボットのしぐさだつたり、感情表現だつたり、「//」ショコノロボットの//セプトにつながつてしまふのかもしれないね。

吉藤 なるほどー。パントマイムからOriHimeちゃんの動きの//セプトに繋がつているなんて、素敵なお話ー。

吉藤 「トモダチロボット」—素敵な響きだね。

吉藤 ありがとうございます。昔3年間も学校にいけなかつた時期、友だちに会えなくて寂しかった体

験も、発想の根源にあったのかもしれないね。そして人工知能のロボットに傾注し始めたら、たくさんの師と呼ぶ人達と出会つたんだ。ノーベル化学賞の小柴先生に出会つたのも「」の頃。でも、高専は1年で退学して、その後ロボット工学で有名な早稲田大学に進学したんだ。でも、早稲田には僕の研究意欲を満たせる研究室が無かつたから、自分で研究室を立ち上げて、人の癒しに繋がるロボットの研究や「//」ショコノロボットを作つたと考えたんだー。

吉藤 「//」ショコノロボットといつて、OriHimeちゃんのような姿ついで。

吉藤 うん。人工知能の研究をやつした時に思つていた「」なんだけど、長く使つてみると、



研究所にある3Dプリンターを使って試作モールドを製作中

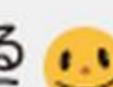
吉藤 ありがとうございます。でもね、「」のような研究活動を進めるうちに、人工知能を搭載したロボットのセラピードでは本当の癒しが生まれてこないのではないかと考えるようになつたんだ。

なぜかといふと、社会のシステムは人と人のつながりで成り立つてゐるよね。つまり人と人の間にしか、癒しは生まれてこないのでないか? といつて結論に至つて、なりませ「//」ショコノロボットを作つたと考えたんだー。

**アイスパケツ**  
ALS認知啓発としてFacebookを中心に世界的に広がったアイスバケツチャレンジ!応援者が氷の入った水をかぶって次々とリレーしていく中、吉藤さんはOriHimeを使ってALSの患者さんに10km離れた場所からバケツを操作してもらい挑戦!



モノを「相棒」とか「コイツ」と呼んだりするよね。愛着がわいて、「擬人化」するのは、所有者の経験と重なつて「そだなあと」「なんか一緒にいる気がするね」「あの時一緒に過ごしたよね」という実感と共に「経験」へと変えるのは、「コミュニケーション型のロボットしかないと考えたんだ。



なるほどー。最近、吉藤さんが力をいれてくれる」とつてなんですか?

**吉藤** 全国で8,300人の患者さんがいるALS(筋萎縮性側索硬化症)という難病を知っているかな? だんだん体が思うように動かなくなっていく難しい病気なんだけど、この患者さんが視線の動きだけで文字を打てるよう

にするための研究開発を進めているよ。研究開発を「エンジエル」として支えてくれている方々もいらっしゃるんだけど、近い将来は、企業のCSRの活動の一環としてサポートいただけたらとも思っているよ。そうすれば様々な障がいを持つていてるたくさんの方が、旅行や社会に参加していただけるような機会をより多く作ってあげられると思うんだ。

わあ、社会の困っている人達を助けてあげられるようになると素晴らしいねー最後にこれから田指していきたい」とはなんですか?

**吉藤** ロボットビジネスの視点からの可能性は無限大! 教師ロボットや見守りロボットを、たくさんの方へ派遣できるようにな

にするための研究開発を進めているよ。研究開発ができるよう頑張ってるよ。  
いま「コミュニケーションツールとしてスマートフォンやタブレットが浸透しているけれど、電話やメールは要件がすめばその時点で切られてしまふよね。でもOriHimeは「一緒にいて存在を感じていてみたい」という思いに応える「コミュニケーション・デバイス」なんだ。

移動が不自由な病気の方々をはじめ、不登校、ひとり暮らしの高齢者の方々、単身赴任のビジネスマンも含めると莫大な孤独が溢れているよね。ボクは「OriHimeで、人と人が距離を越えてお互いの存在をすぐそばに感じられるという、これまでに無かつた価値に転換していくソーシャルモデルを作っていくみたいんだ。

吉藤さんの「」活躍を応援していますーーもつともつとOriHimeさんがたくさん街に溢れて、みんなが嬉しい顔をしている様子が目に浮かぶと、なんだかワクワクしてきちゃう、今日はありがとうございましたーー

るといいなと思って、スピーディ感のある研究開発ができるよう頑張ってるよ。



日常生活の中で見つけた  
Fun for Lifeを紹介するコーナー

## 「カフェ経営もくつろぎも “シェア”しています。」

「101ルームカフェ」プロデューサー

木村 歩衣里さん  
(足立区竹の塚)



She's  
~~~~~  
a Fan

楽しみのヒント、  
みつけたっ

——曜日によって、オーナーが入れ替わるシェアスタイルは斬新ですね。このようなカフェを創ろうと思ったきっかけは？

いま世間では、オーナーの個性を反映するようなユニークなカフェが注目されています。

まだ自分の店舗を構えてはいないものの、飲食業界でチャレンジしたいと思っている方はたくさんいます。そう思っている方達がこの

——木村さんが飲食の世界に飛び込んだきっかけを教えてください。

幼い頃から母が作る料理の手伝い

をしていました。また中学生の頃は独学で「タマゴの研究」をしたりしていましたね(笑)。

高校卒業後は大好きな料理を専門的に学ぶために調理師学校へ進み、その後は食品会社に就職しました。

竹の塚にある「101ルームカフェ」は、曜日ごとに異なるオーナーが日々こだわりのスタイルでサービス提供する「シェア・カフェ」というユニークなスタイル。

遠方からのカフェ・ファンや、地元住民の方々でいつも賑わっています。

新しい形の憩いの場、交流スペース。

「この場所は『自分のための愉しい空間』なんです」そうおっしゃるプロデューサー兼オーナーの木村さんにお話を伺いました。

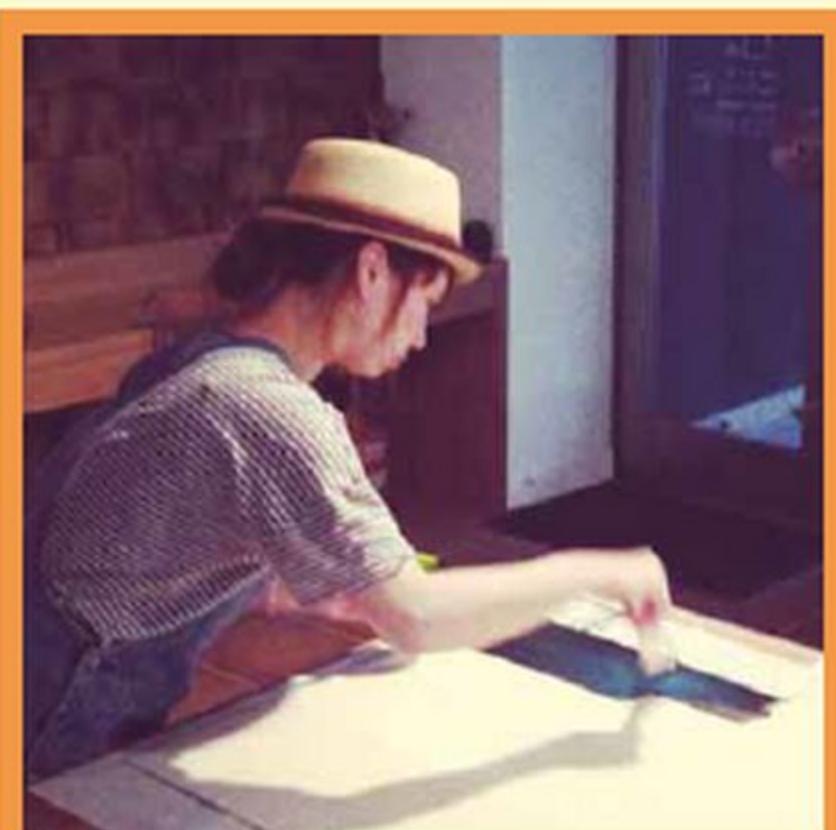
りたいと思いました。

——開業に

レンジをサポートする素敵な取り組みですね。

——木村さんが飲食の世界に飛び込んだきっかけを教えてください。

カフェ好きの方は、遠くからでもわざわざ来ただけるんですよね。空間・インテリア・小物・音楽。どれもオーナーのこだわりのもので囲まれていますが、こちらが愉しい、快適と思える空間、提供するお料理に共感をしていただき、リピートしていただけるお客様を見つけた時は何よりも嬉しいですね。



Fun for Life

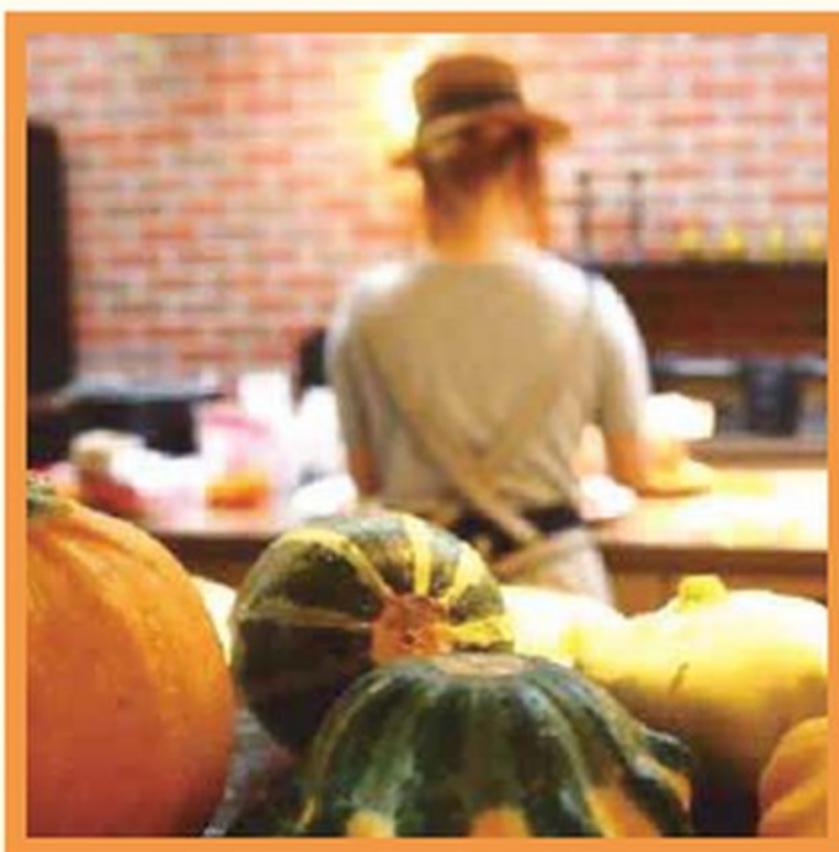
取り扱っている調味料を使つたレシピを次々と考へる毎日で発想力が鍛えられました。その後は外資系カフェでカ

フエ経営を勉強し、調理教室のアシスタントをしているときに「シェアハウス」の運営会社の方から「新しいシェアハウスの一角でカフェを開業しないか」と話をいただき、どんどん一下子に話が進んだんです。

——順調ですね。この先やってみたいのはどんなことでしょう？

シェアの複合型ビジネスモデルです。たとえば、託児所が併設されていて、女性が子供を預けながらノマドスタイルで働けて、そこに集まる人々がビジネス・スキルをシェアし、大きなプロジェクトが回せたりするような。カフェ運営のノウハウと社会のニーズを組み合わせる。そんな新しいビジネスモデルを構築できいか摸索しています。

——先だってピーアークの新規店舗に併設する「コミュニティルーム」では、



お客様がピーアークの水耕菜園で育てた野菜やハーブを使ったお茶会イベントを企画しました。おかげ様で大変ご好評でした。木村さんはフードコーディネーターとしての顔もお持ちですが、どのような点に気を遣われますか？

毎日が創意工夫との戦いです。味はもちろんですが、お料理のカラーの組合せやクロスなど脇役一つひとつにまで気を配ります。それがカフェの個性にも繋がります。お客様に「素敵！」と思っていただき、誰かにシェアしたくなるような「お料理」を起点にしたトータルコーディネートで、感動を提供するのがフードコーディネーターの役割だと思っています。

——なるほど。

隅々までの丁寧な心配りも秘訣ですね！ カフェのプロデューサー、オーナー、フードコーディネーターと

多彩にご活躍されていますが、その行動力の源はどこにあるのでしょうか？

思い返せば子どもの頃から家族との時間は、いつも父を中心にしてアクティビティに富

んだものでした。

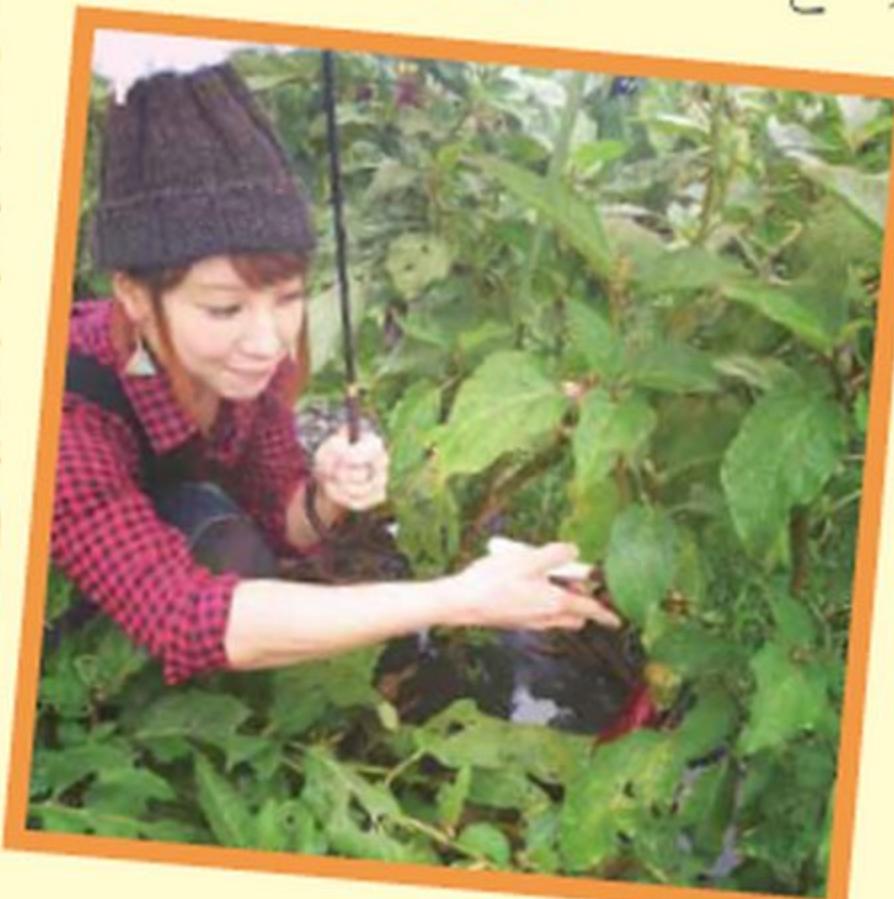
その影響かもしれませんね。

いま自分の

起こしたアクションが、少しずつ形になつてきています。

「生懸命やっていれば、出会いたいことにきっと出会える。」そう思つてこれからもがんばります。

——今日は、ありがとうございます！ お祈りしています！





草加よさこいサンバフェスティバル  
(7月26・27日)



谷中しょうぶ沼公園納涼祭  
(8月2・3日)



草加ふさら祭り  
(11月2・3日)



竹の塚カリン収穫祭  
(11月2日)



ところざわまつり  
(10月12日)



The logo is circular with a light green background. The top half of the outer ring contains the Japanese text "ピーアークニュース" (PARK NEWS!) in a white, sans-serif font. The bottom half of the outer ring contains the date range "2014年6月▶2014年11月" (June to November 2014) in a smaller white font. The center of the circle features the words "PARK NEWS!" in large, bold, white, sans-serif capital letters.

# Fun for the Area

今年も、お店を飛び出し地域のお祭りに参加し、街をもっと楽しくするために活動してまいりました。

## PARK DREAM

今号の考案者

母親になって3年。まだまだ一人前になれずに、仕事と育児の両立に難しさを感じることもあります。それでも頑張れるのは私には支えてくれる人達が周りにいてくれるからです。そして、世の中には私と同じように、さまざまな環境で頑張るパパやママがいます。そんな多くの人の支えになれないだろうか?しかもピーアークらしく! そう考えました。

時間があると来たくなってしまう場所、楽しいコミュニケーションがとれる場所、自然と人が集まって、笑顔の溢れる場所。それがピーくんHOUSEです!

千葉デジタルタウン ナビスタッフ  
熱田 美穂



## 編集後記

2014年6月、日本で話題をさらったのは世界文化遺産に登録された富岡製糸場でした。ここは日本近代化のために明治政府が最初に設置した模範機械製糸場で、蚕から生糸を作り外国へ輸出する拠点だったそうです。そしてここから輸出された生糸は様々な加工を経て美しい絹へと姿を変え、品質の良い製品として世界中で愛されました。現在の“ものづくり日本”的ブランドイメージとなっています。

2014年、ピーアークスタッフは様々な催事に参加させていただき、多くの貴重な出会いがありました。ピーくんガーデンやシェア・プラザでは、コミュニティースペースを通じて、支援団体のアスリートとは大会ボランティアを通じて、王滝村「ピーくん+1の森」では木材を通じて、多くの経験や学びをいただきました。中には、“ピーくん木のおもちゃ”といった新たな活動が生れたものもありました。「コラボ・スクール」を運営しているNPOカタリバ様と共に開催した支援者交流会を通じて他業種の皆様や、“エコキャップ活動”を通じて明治大学の皆様などと、職種も世代も違う多くの出会いがありました。半年振り返り、たくさんのご縁があったことに感謝しております。

“ご縁”とは糸のようなもので、撫り合わせることで太く立派なものになるものではないでしょうか。これからも、大切なご縁を太く長く紡ぎ続け、皆様に喜ばれる立派な「Fun for Life」の絹をつくれるよう取り組んでまいります。

<編集長 奥谷 洋章>

## 明治大学「エコキャップ週間」へ協力

明治大学駿河台ボランティアセンターの学生団体「Tree」が主催する「エコキャップ週間2014」が11月17日(月)~21日(金)リバティタワーにて開催され、ピーアークはキャップ回収ボックスの貸し出しを始め、協賛品提供などの応援をいたしました。このイベントは在学生のみなさんや地域の方々を巻き込んで毎年開催されているもので、今回は1,000人以上の学生及び地域の方が参加されました。



## スペシャルオリンピックス日本 エールラン in TAMAGAWA

11月24日(月)、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本のチャリティランイベントにピーアークより10名が参加しました。今回の参加費は、2015年夏季世界大会・サンゼルスの日本選手団派遣費をはじめ、団体の活動費に活用されます。



11月

SON夏季ナショナルゲーム・福岡ボランティア参加(11月1~3日)

竹の塚カリン収穫祭参加  
ソーラン節を披露(11月2日)

草加ふさざら祭りよさこいを披露  
(11月2~3日)

世界キャラクターさみつ in 羽生 2014  
にピーくん参加(11月22日・23日)  
エールラン in TAMAGAWAに参加  
(11月24日)

## PARK DREAM



## ピーくんHOUSE

街の楽しい託児施設として、ピーくんHOUSEが誕生。駅からも近く、パパ・ママと一緒に通園。そこでは、遊びのプロスタッフと、ピーくん体操、ピーくんソング、ピーくん積木や、ピーくんゲームで楽しく過ごす場所。寂しくなっても大丈夫。お部屋の真ん中のピーくんの鼻を押したらパパ・ママとお話できる“ピーくんPhone”が。最近では、子どもだけじゃなく、おじいちゃん、おばあちゃんも遊びに来ています。街の楽しい場所として大人気。

エンタメ原人  ピーアーク  
ワタシたちの仕事は世の中を楽しくすること

Fun for Life

<http://www.p-ark.co.jp>

PKUN

©2004 PARK HOLDINGS CO., LTD.

